

朝倉J.C

[福岡県]

朝倉地域の未来に向けて、 新生「朝倉J.C」に期待

わがLOM社団法人朝倉青年会

議所は九州地区福岡ブロックに属し、人口9万6000人の朝倉市郡1市1町1村を活動エリアとしており、もとは(旧)甘木市を中心とした周辺朝倉郡の西部(夜須町、三輪町)東部(朝倉町、杷木町、小石原村、宝珠山村)の7市町村構成で、LOM名称も昨年まで「甘木・朝倉」と称しておりました。

水と緑に恵まれ福岡都市圏の水源地としての機能を有し、豊かな農作物に恵まれ、その昔、北部九州の外交と交易を担った博多と政治的中核をなした大宰府を支えた食料の供給地であり、日本における生活文化の地としては縄文時代を遥かに遡り、卑弥呼伝説や邪馬台国連合の候補地として挙げられる歴史性深き地域です。

1969年7月、(旧)甘木市の志

高い青年たちにより「甘木」青年会議所として創立し、活動活発化に伴い、志を同じくする仲間も周辺地域(朝倉郡)に広がり、設立20年目に「甘木・朝倉」として昨年まで、活動エリア住民の皆様をはじめ、全国の同士に馴染み親しまれてまいりました。

平成の大合併により当地域も2006年3月に7市町村から3市町村となり、甘木という名称も朝倉市へと変更されたことから、昨年の第38代藤木理事長により名称変更を

決断し、昨年1年をかけOBをはじめスポンサーである久留米J.C、活動エリアである3市町村長、日本青年会議所本会並びに九州地区、福岡ブロック各地会員会議所の皆様のご理解とご協力により、無事昨年12月8日、最終の日本理事会において承認を頂き、本年新生「社団法人朝倉青年会議所」として第39代二又理事長にバトンが渡されました。

シニアの立場では愛着ある「甘木・朝倉」という名称ですし、チャーターメンバーにすれば創立時の「甘木」という名称が消える形となり様々な弊害も予測されましたが、名称変更の必要性について藤木理事長はじめメンバーの熱意によりスムーズに手続きに入ることができました。

定款の大幅な変更も含めて、関係する行政主管課との打合せや、日本理事会上程までの道のりは、LOMの規則審査会議による書類審査並びに現地調査と正にLOMの歴史を二から遡る必要があります、名称変更のプ

ロセスは簡単なものではありませんでした。

しかしながら、この一連のプロセスはとても重要であり、これまでのLOM名称のもと先人達が熱心に取り組んでこられた様々な事業を振り返った事は、来年40周年を迎える当LOMにとってタイムリーな事でもありました。

2008年新生「社団法人朝倉青年会議所」の名のもとで、朝倉地域の未来に向けて意義ある事業を展開することで、新名称への愛着を育んでもらいたいものです。

シニアとしても初々しい名称のもと、これまでの歴史を背負って活動を続けてくれる現役メンバーに対し最大限の応援をして参ります。

朝倉青年会議所OB会

会長 具嶋 又栄

代表世話人 井上 純一

日本J.Cシニアクラブ

福岡ブロック担当幹事 松藤 敏彦



1月度定時総会・新名称披露の二又理事長あいさつ



1月度定時総会・新名称披露懇親会



新生朝倉青年会議所OB会 新年総会を終えて



朝倉青年会議所OB会 新年総会懇親会